

INTER KYOTO

インターキョウト

2003.6.30 No.18

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

会長 北村 昱

我々の情報産業は若い産業であります。その若い産業を支えているのは会員会社の中で脂の乗り切った若者(幹部候補生)です。

しかし、ともすると優秀な若者ほど外界との接触が絶たれ、特に同業者との交流が少ないものです。

京情協としては、会員各社が夫々の特徴を持ち寄って共業を興し、将来のある若者が競って集う場を作っていきたいものだ、と、常々考えています。

戦争、病气、不況と暗い話題があふれる中ですが、将来のために知恵を出し合ひましょう。



情報 コラム

1

『京都デジタル疎水ネットワーク(仮称)の整備について』

京都府企画環境部企画参事(IT推進担当)

IT化が急速に進展する中、京都府では、地域間の情報通信格差を感じさせず、IT時代にふさわしい情報通信環境を実現するため、府域をむすぶ新しい情報通信基盤「京都デジタル疎水ネットワーク(仮称)」の整備に取り組んでいます。

平成14年度には、府内全域に全国トップクラスの容量となる2.4Gbpsの幹線ネットワークを整備するとともに、全国で初めて、全ての府立高校、養護学校等を100Mbpsの光ファイバで結び、ブロードバンド時代に対応した学習環境を整備しました。今春からは教育系情報ネットワーク「新みらいネット」として一部活用が始まっています。

平成15年度には、消防本部や病院などの防災関係機関を接続し、災害状況等を映像情報により迅速に把握できる防災情報システムを整備します。また、各市町村と接続し、電子政府の基盤となる総合行政ネットワーク(LGWAN)に対応するとともに、電子府庁の構築に向けて、府の地方機関をむすぶ府庁WANを更新整備していきます。

これらの取組を通じ、情報化による府民サービスの一層の向上を図るとともに、今後とも地域や民間事業者の皆さんをはじめ、市町村、国とも協力を進め、教育、行政分野だけでなく、大学・学術研究、産業、医療等の府民生活にかかわる様々な分野の機関とむすび合うことで、ネットワークを活用した魅力ある京都府づくりを進めてまいります。

平成14年度ならびに15年度通常総会が開催されました

平成14年度 第2回通常総会（3月27日）

活力ある協会を目指して、いざ出帆！

去る3月27日（木）平成14年度の活動を締めくくる「第2回通常総会」が平安会館で開催されました。北村会長の開会挨拶のあと、平成15年度事業計画案ならびに予算案の審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。また、故柳田稔氏の後任として、協会の新監事に池田達夫氏（ワールドビジネスセンター㈱）が選任されました。



平成15年度活動基本方針

社団法人として設立3年目を迎える平成15年度は、前年度に引き続いて、協会の知名度向上を図るとともに、従来の研究調査事業からさらに一步踏み込んだ企画事業の推進、ならびに地域産業界が抱える課題のとりまとめに着手していきます。また、関係諸団体・機関との連携を強化しながら、会員が保有する各種ITに関するノウハウや人材を地域産業の発展に向けて活用していきます。

平成15年度 事業活動の概要

（1）府民生活の向上に資する情報化促進事業

平成14年度に行われた身障者のパソコン・リテラシーに関する実態調査をもとに、障害者・福祉団体と連携しながら、健常者と同等の各種リテラシー向上施策を研究。

（2）府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業

府民への先端情報通信技術動向の紹介を目的として、春と秋にオープン・フォーラムを開催するとともに、「ケータイ国際フォーラム」など情報関連事業への協賛。

（3）府内地域産業の情報化促進事業

京都府や京都市、京都府中小企業総合センター、大学研究機関などと連携しながら、今後のIT産業集積の推進とITを活用した京都産業の活性化に寄与。

（4）社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業

特定分野の研究者、先進先端企業の実務者などを講師に迎えてセミナーを開催し、今日的課題とその対応について研修。

（5）行政、団体、その他関係機関との連携・交流事業

京都府ならびに京都市の情報関連施策に協力して連携強化に努めるとともに、京都産業21が主催する「インターネット利用研究会」などに積極参加。

（6）府内情報産業の強化振興事業

情報交歓広場（経営委員会）やSE研究会（経営委員会）などを開催し、情報関連施策の浸透を図る

とともに、府内の情報産業の強化振興に寄与。

（7）全国情報関連諸団体との連携事業

全国地域情報産業団体連合会（ANIA）や情報サービス産業協会（JISA）などと連携し、全国の地域動向の情報収集と協会活動への反映を推進。

（8）その他の事業

協会や会員企業の活動を社会に広く告知していくため、ホームページの更新・充実ならびに協会誌「インターキョウト」をリニューアルして年4回発行。

平成15年度 第1回通常総会 記念講演会

足腰の強い企業体質を築く 京セラ “アメーバ経営”

藤井 敏輝氏 | 京セラコミュニケーションシステム㈱
常務取締役コンサルティング事業本部長



企業の規模が大きくなると、経営トップが会社の隅々まで十分に監督することが難しくなり、どこで儲かっているのか損をしているのか経営実態がつかめなくなってしまう。京セラでは創業以来、会

平成15年度 第1回通常総会（5月28日）

協会の活動を振り返る — 事業実績と決算報告

平成15年度の第1回目の通常総会が、5月28日（水）ぱるるプラザにおいて開催されました。開会に先立ち、来賓を代表して京都府商工部産業活力支援室の山下晃正室長、京都市産業観光局商工部産業振興課の安井輝夫課長補佐より挨拶。引き続き、北村会長の議事進行により、平成14年度事業報告・決算報告、会計監査報告が行われ、いずれも滞りなく承認されました。



北村 豊 社団法人
京都府情報産業協会会長



山下 晃正 京都府商工部
産業活力支援室長

平成14年度活動概要（要旨）

平成14年度は、北村新会長体制のもと、社団法人設立認可の指導要綱に対応した第一次活動基盤整備、協会知名度の向上と連携事業の取り組みの2点を中心に据えて活動を開始しました。会員である京都コンピュータ学院様のご支援によって、会議室を備えた事務所を開設することができたほか、京都産業21からの「IT産業調査業務」の受託、京都府保健福祉部の協力をいただいて「障害者のパソコンリテラシーに関するアンケート調査」を実施するなど、おおむね順調な成果を得ることができたと思います。その一方で、委員会の参加メンバーが逐年減少傾向にあり、各委員会活動の充実が求められています。会員各位の委員会への参加と協力をお願い申し上げます。

事務局長選任（平成15年5月16日付）
新事務局長 須磨 光氏（株京信システムサービス）
事業推進委員会・委員変更
< 新任 >
副委員長 須磨 光氏（株京信システムサービス）
委員 山口正純氏（ワールドビジネスセンター株）

社がまだ小さな頃から社内の経営管理体制の確立に努めてきましたが、その一つが組織全体を3~4名単位のグループに細分化し、時代や市場ニーズに合わせて臨機応変に変化させていく小集団部門別採算の経営管理システム、つまり『アメーバ経営』です。

アメーバ経営の特徴は、時間当たりの生産高や売上高を明確にして、1時間あるいは1分単位の採算を管理することで会社への貢献度を図ろうというものです。その方法としては、まず各グループごとに月次目標・予定を立案してもらって、自分たちの部門をどのようにしていきたいのか社員一人一人に考えてもらいます。月末には自分たちのグループの目標到達度を部門責任者が代表で発表し、その問題事項

を全員で検討して次回の対策・目標に結びつけていきます。小さなユニットオペレーションのリーダーにそれぞれの部門の採算を考え運営してもらうことで、全員参加型の経営を実現することができました。

企業が成長発展するための経営基盤を築くには、経営トップと社員が同じ経営理念、判断基準を共有することが大切だと思います。肥大化した組織の経営管理システムを見直し、しっかりとした計数管理の仕組みや社内ルールを確立すること、まさにそれが足腰の強い企業体質（企業風土）を醸成することにつながっていくのです。

会員企業の皆さまへ

新たに広報・経営・技術・地域情報化、それぞれ4委員会への参加をお待ちしています。事務局までご連絡下さい。締切りは7月31日です。

新年度事業に向けて決意も新たに

各委員長から一筆啓上

事業推進委員会 植田弘毅委員長



事業推進委員会は、協会全体の活性化を役割としていることから、各委員会を統括する位置付けに置かれています。当委員会では、この役割を果たすため、役員並びに各委員会役職者会員の委員で構成し、委員会相互間の事業企画並びに諸活動の調整と協会全体の活性化活動を行っています。活動の指針として、協会の事業目的を念頭に、社会情勢の変化と会員のニーズに対応することを心がけていますので、会員皆様のご要望を事務局にお寄せいただきますようお願いしています。

広報委員会 河合康博委員長



広報委員会の役割として、京情協内部に対しての広報と、外部に対してのそれとがあります。両方に対するツールである会報「インターキョウト」を今年度からリニューアルします。会員企業への取材なども積極的に行いますので、ぜひご協力下さい。また、会員企業向けに、得意分野別業務INDEXを計画しています。当協会にとっての広報を効果的に遂行するため、7人の委員がそれぞれ役割分担し、取り組んでいます。

経営委員会 木村道也委員長



当委員会では、3つのテーマを設けて小委員会活動を行い、協会の基盤強化と会員各社の経営体質強化、府民に対する情報関連の啓発・普及事業を行っています。まず一つ目は「行政、団体、その他関係機関との連携・交流事業」として、業界景気短観をテーマに京都府中小企業総合センターとの懇談会の開催（年4回）。二つ目は「府内情報産業の強化振興事業」として、情報交歓広場（年2回）や経営研修会（年4回）などの開催。最後の三つ目は「府民・中小企業に対する情報関連の啓発・普及事業」として、府民や中小企業の情報化推進に対する啓発講演会・セミナーを行い（年2回）、情報活用普及事業に努めています。

技術委員会 山本孝委員長



技術委員会は12名の委員で運営を行っていきまして、事業取組みの2本柱としましては、今年度も身障者に焦点を当て、昨年度の「身障者のパソコン・リテラシー実態調査」をもとに、健常者と同等のリテラシー向上施策の研究、また中間管理職・中堅社員を対象として、同業他社との情報交換によって課題解決やマネジメントの向上に役立てるため、「SE研究会」の開催を行うこととしています。そのため、各委員が計画遂行に向けて積極的な取組みを行っています。

地域情報化委員会 古川峰生委員長



京都府情報産業協会の事業目的に「府内地域産業の情報化促進事業」が存在します。我が地域情報化委員会の今年度活動はこの目的のために全力を注ぎ込む所存です。政府の新IT基本戦略も、その重点目標が「ITの利用・活用の推進」に移りました。府の「デジタル疎水ネットワーク」、市の「京都ONE構想」等のIT基盤整備をいかに利用するのか？全国レベルの大手ベンダーに委ねて他地域と同様な情報化促進を実施したとしても地域のユニークさは期待できません。行政の担当部局とともに汗をかいて調査・研究を積み上げない限り展望は開けないと考えています。

会員だより

会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

(株)エクザム

顧客ニーズに対応したソリューションを提供

インターネットに関連する各種事業を幅広く手がける(株)エクザム。『ウエスティンホテル京都』や『チヨウヤ梅酒』、英語学習サイトの『英語の構文150



オンライン』など、デザインの見やすさ、美しさはもちろん、操作性・機能性に配慮したホームページが好評です。

「SIPS(Strategic Internet Professional Service)」と呼ばれるエクザムの業務はとて幅広く、「ホームページの制作だけでなく、ネットビジネスのコンサルティングに始まり、それらを実現するためのシステム開発、レンタルサーバ、データセンター、さらに検索エンジン対策などのフォローアップまで、ネット事業に関するすべてを1社でカバーしています」と木下社長。昨年のケータイ国際フォーラムで高い評価を得た「ライブストリーミングサービス」や「ウェブサイト診断サービス」など、顧客ニーズに対応したシステム開発にも力を注いでいます。

「今後は、海外向けサイトの構築や中国(上海)でのシステム開発なども積極的に取り組んでいきたい」と意欲を語る木下社長。グローバル社会の到来を迎えた今、エクザムの活躍の舞台は海外にも大きく広がっていきそうです。

京都市中京区西ノ京西中合町29

TEL 075-801-7000

Mail info@ekzm.co.jp URL http://www.ekzm.co.jp

京都コンピュータ学院

創立40周年を迎え、コンピュータ産業界から高まる期待

1963年、京都大学理学部(宇宙物理学教室)大学院出身の若手学者グループの研究会を源に、日本最初の民間におけるコンピュータ教育機関として創立され



た京都コンピュータ学院。以来、教育機関では日本最初といえるTSS Onlineデータ通信システム(タイム・シェアリング・システム)の導入や、1983年当時に学生に対して1人1台のパソコン無償貸与を行うなど、先進的な取り組みを進めてきました。これまでに同学院で学んだ卒業生は、3万6000人以上(日本最多)、コンピュータ産業界を中心に第一線で活躍しています。

同学院ではまた、米国の名門RIT・ロチェスター工科大学(<http://www.rit.edu/>)の大学院編入を目指すコースを設置しています。修士号取得に必要な単位のうち、約半分を京都コンピュータ学院で取得し、残りの単位を取得するためにRITに留学をするというものです。このことから同学院で展開されている教育プログラムのレベルの高さがうかがえます。

今年で創立40周年の佳節を迎えたコンピュータ学院。来るべきユビキタス社会の実現に向けて、ますますその取り組みに注目が集まりそうです。

京都市左京区百万遍上ル

TEL 075-722-8686

Mail hello@kcg.ac.jp URL http://www.kcg.ac.jp

我が社のイチオシさん!



隠岐 正さん(京都電子計算機情報ネットワーク本部開発部グループマネージャー)

ISO9001の取得に向けて、奮闘しています!

当社では、今年1月に品質管理委員会を発足させ、「ISO9001(品質管理システム)」の取得に向けて、様々な活動に取り組んでいます。中でも、私は委員会をまとめる事務局の一人として、全社員を引っ張っていく立場にあります。ご存じのように、品質管理システムを取得するためには、まず最初にISOが求める要求事項を満たしていかなければなりません。当社では、各セクションの部長、グループマネージャークラスが集まって分科会を開催し、品質管理標準や契約標準、開発作業標準など、17もの標準規格を作成しました。これらは

当たり前のことのように、あらためて社内体制を確認するきっかけとなりました。よく言われることですが、ISOは取得することが目的ではありません。無理をしなればいけないことを標準化するのではなく、社員一人一人が少し頑張れば運用できるようなマネジメントシステムを考えたいと思います。今年7月に予定されている書類審査をクリアして、なんとか今年度中の取得を目指したいですね。取得のあかつきには、私が好きなモダンジャズを聴きながら、ささやかな祝杯をあげたいものです。

協会だより

正会員 51社
賛助会員 8社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により成果を得ることができました。会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

情報交歓広場

「社内喫煙状況アンケート調査」報告（経営委員会）

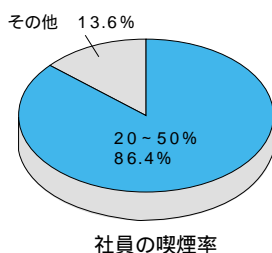
経営委員会初めての企画として、アンケート形式で実施した平成14年度の第2回情報交歓広場「社内喫煙状況調査」の結果がまとまりました。

会員企業57社（調査実施当時）のうち、メールによる回答があったのは22社（回答率38.6%）。各社とも禁煙対策を実施するなど、社内環境や非喫煙者に対する配慮がうかがえる一方、業界特有のストレス解消に喫煙が役立つとの愛煙家の意見も根強く、社内喫煙に関するさまざまな問題が浮き彫りにされました。

調査結果（抜粋）

社員の喫煙率

- ・社員の約80%が喫煙 1社
- ・社員の約50% " 6社
- ・社員の約30% " 8社
- ・社員の約20% " 5社
- ・社員の約5%未満 " 1社



社内の分煙対策

- ・喫煙コーナーを設けている
 - 吸煙機やエアカーテンを設置 6社
 - 吸煙機やエアカーテンを未設置 3社

- ・喫煙室を設けている
 - 吸煙機やエアカーテンを設置 2社
 - 吸煙機やエアカーテンを未設置 2社
- ・時間帯で分煙している 1社
- ・場所と時間帯を併用している 3社
- 社内発生した喫煙問題
 - ・非喫煙者からの苦情がある 5社
(いずれも喫煙率30%以上の企業)
- 苦情に対する対処法
 - ・朝礼などで社員に禁煙を喚起
 - ・空気清浄機や吸煙機などを設置
 - ・喫煙コーナーに喫煙できる時間帯を設定

新入会員の紹介

正会員 (2003年3月入会)

株式会社エクザム

代表者名：代表取締役社長 木下 豊
所在地：〒604-8441 京都市中京区西ノ京
西中合町29
TEL.075-801-7000 FAX.075-801-7045

正会員 (2003年3月入会)

株式会社キャリアネットワーク京都

代表者名：代表取締役社長 洲崎 行男
所在地：〒600-8431 京都市下京区綾小路通新町
東入ル善長寺町143 マスギビル5階
TEL.075-353-3883 FAX.075-353-3885

退会会員 (2003年3月付)

アデコキャリアスタッフ(株)
㈱日新システムズ

編集後記

平成15年度に入り当協会は社団法人として3年目を迎え、ますます活発な活動が期待されています。本誌を発行する我が委員会も、昨年までは企画広報委員会の名称で活動してきましたが、本年度から広報委員会と改め、文字通り広報活動を中心に運営することとしました。インターキョウトはその中核をなすものとして、年4回発行に踏み切り、取材および投稿記事を多くし、一人でも多くの皆様に協会の活動をよく知り、かつ参加してもらえるよう内容を充実したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。(広報委員)

京情協事務局長就任挨拶

須磨 光 (株)京信システムサービス 取締役



今般開催されました理事会の同意を得て、北村会長から事務局長に任命されました須磨でございます。職責を果たすべく、最初から自分なりのトップスピードで邁進していきたいと考えています。しかしながら、右も左も分からないことばかりですので、どうぞ温かくお教えお導きいただくようお願い申し上げます。

私事ですが、今マラソンにはまっております。3月には、「京都シティハーフマラソン」に挑戦し、初マラソンとしては我ながら、納得のいく結果を出すことができ、大満足でした。この11月には、「福知山マラソン」に無茶を承知で出場しようと目下頑張っているところであります。目標に向かって、毎日の地道な練習を重ね、その成果をコース上で、一歩ずつ進めていく姿は、まさに私のビジネススタイルそのものような感じがします。辛くともその一歩を前に出さないとゴールにはたどりつきません、その一歩の重要性を肌で感じられたことがうれしい感覚でした。この感覚を大切にしながら、京情協の発展のために、事務局長の職責を着実に果たしていきたいと考えております。信じて、努力すれば、必ず成果はついてくることを確信して進みます。よろしくお願致します。